様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	中央動物看護専門学校
設置者名	学校法人中央総合学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	動物看護	夜・通信	1,365 時間	160 時間	
	動物飼育	夜・通信	1,350 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開（http：//www.chuo.ac.jp/can/）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	中央動物看護専門学校
設置者名	学校法人中央総合学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

法人本部での閲覧にて公開

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社　役員	R1.6.25 ～ R5.6.24	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	税理士	R1.6.25 ～ R5.6.24	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中央動物看護専門学校
設置者名	学校法人中央総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

○作成プロセス

① 共通フォーマットの作成
② 各教員、非常勤講師への依頼
③ １月末までに提出依頼
④ カリキュラム検討委員会にて協議
⑤ 完成後学生へ配布及びホームページにて公開

○内容

① 科目概要
② 到達目標
③ 使用教材・教具
④ 成績評価の方法・基準
⑤ 履修にあたっての留意点

授業計画書の公表方法	ホームページにて公開（http：//www.chuo.ac.jp/can/）

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

○成績評価について

・出席率が 70%に満たない場合は、単位取得は認められない
・評定については各科目の学期末試験の結果、出席率、受講態度、レポート等総合的に判断する
科目評定は上位よりＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤとしてＤ評定は不合格とし、単位取得は認められない
尚、Ｓ～Ｄの評定は下記点数で区分する
Ｓ評定・・・１００～８５点
Ａ評定・・・　８４～７５点
Ｂ評定・・・　７４～６５点
Ｃ評定・・・　６４～４０点
Ｄ評定・・・　３９～　０点

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 客観的な指標として、評定平均を設定する。 【評定平均の求め方】 ①科目評定を以下に換算（以後、評定換算値という） Ｓ・・・４ Ａ・・・３ Ｂ・・・２ Ｃ・・・１ Ｄ・・・０ ②評定平均の計算式 $評定平均＝\frac{科目ごとの評定換算値を合計}{科目数}$ ③（成績判定会議で成績評価が確定後、評定平均を求め、）成績の分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開（http://www.chuo.ac.jp/can/）
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・卒業認定のプロセス 履修科目の確認、その後職員会議を経て卒業判定会議にて判定 ・卒業認定の内容 動物看護学科：全課程次終了時点で 2460 時間（70 単位）以上の履修 動物飼育学科：全課程次終了時点で 2340 時間（78 単位）以上の履修 必修科目をすべて履修	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公開（http://www.chuo.ac.jp/can/）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	中央動物看護専門学校
設置者名	学校法人中央総合学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
財産目録	学園本部窓口にて閲覧
事業報告書	学園本部窓口にて閲覧
監事による監査報告（書）	学園本部窓口にて閲覧

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		文化教養専門課程	動物看護学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,460 単位時間／単位	単位時間 39/単位	単位時間 7/単位	単位時間 24/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	16 人	0 人	3 人	8 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○作成プロセス ①共通フォーマットの作成 ②各教員、非常勤講師への依頼 ③1 月末までに提出依頼 ④カリキュラム検討委員会にて協議 ⑤完成後学生へ配布及びホームページにて公開 ○内容 ①科目概要 ②到達目標 ③使用教材・教具 ④成績評価の方法・基準 ⑤履修に当たっての留意点
成績評価の基準・方法
（概要） ○成績評価について ・出席率が 70%に満たない場合は、単位取得は認められない ・評定については各科目の学期末試験の結果、出席率、受講態度、レポート等総合的に判断する

科目評定は上位よりＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤとしてＤ評定は不合格とし、単位取得は認められない

尚、Ｓ～Ｄの評定は下記点数で区分する

Ｓ評定・・・１００～８５点
Ａ評定・・・　８４～７５点
Ｂ評定・・・　７４～６５点
Ｃ評定・・・　６４～４０点
Ｄ評定・・・　３９～　０点

卒業・進級の認定基準

（概要）

・卒業認定のプロセス
　履修科目の確認、その後職員会議を経て卒業判定会議にて判定
・卒業認定の内容
　2 年次終了時点で 2,460 時間(70 単位)以上の履修
　必修科目の単位をすべて履修
・進級認定のプロセス
　履修科目の確認、その後職員会議を経て進級判定会議にて判定
・進級認定の内容
　1 年次終了時点で 1,240 時間(31 単位)以上の履修
　必修科目の単位をすべて取得

学修支援等

（概要）

安全確保のため生活安全センターを設置
クラス担任制、個別面談等の対応

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (　　%)	8 人 (　100%)	0 人 (　　%)

（主な就職、業界等）
動物病院、ペットサロン等

（就職指導内容）
就職スタートアップ講座、履歴書指導、個別面談、面接指導

（主な学修成果（資格・検定等））
サロントリマー検定３級　８人
動物看護師検定１級 ７人
動物看護師統一認定試験　７人
ペットフード・マナー検定　７人
愛玩動物飼養管理士１級 ３人

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8　人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、学習目標の設定・管理、個人面談、保護者連携、出席管理、自宅訪問		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
文化・教養		文化教養専門課程	動物飼育学科			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			単位時間 24/単位	単位時間 7/単位	単位時間 47/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
2 年	昼間	2,340 単位時間／単位	単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50 人	12 人	0 人	1 人	8 人	13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○作成プロセス ①共通フォーマットの作成 ②各教員、非常勤講師への依頼 ③1 月末までに提出依頼 ④カリキュラム検討委員会にて協議 ⑤完成後学生へ配布及びホームページにて公開 ○内容 ①科目概要 ②到達目標 ③使用教材・教具 ④成績評価の方法・基準 ⑤履修に当たっての留意点
成績評価の基準・方法
（概要） ○成績評価について ・出席率が 70%に満たない場合は、単位取得は認められない ・評定については各科目の学期末試験の結果、出席率、受講態度、レポート等総合的に判断する 科目評定は上位よりＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ、ＤとしてＤ評定は不合格とし、単位取得は認められない 尚、Ｓ～Ｄの評定は下記点数で区分する Ｓ評定・・・１００～８５点 Ａ評定・・・　８４～７５点 Ｂ評定・・・　７４～６５点

Ｃ評定・・・　６４～４０点 Ｄ評定・・・　３９～　０点
卒業・進級の認定基準
（概要） ・卒業認定のプロセス 履修科目の確認、その後職員会議を経て卒業判定会議にて判定 ・卒業認定の内容 2 年次終了時点で 2,340 時間(78 単位)以上の履修 必修科目の単位をすべて履修 ・進級認定のプロセス 履修科目の確認、その後職員会議を経て進級判定会議にて判定 ・進級認定の内容 1 年次終了時点で 1,350 時間(45 単位)以上の履修 必修科目の単位をすべて取得
学修支援等
（概要） 安全確保のため生活安全センターを設置 クラス担任制、個別面談等の対応

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (　　%)	0 人 (　0%)	0 人 (　　%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 就職スタートアップ講座、履歴書指導、個別面談、面接指導 予定			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12　　人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		

（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、学習目標の設定・管理、個人面談、保護者連携、出席管理、自宅訪問

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
動物看護	100,000 円	580,000 円	420,000 円	
動物飼育	100,000 円	580,000 円	420,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.chuo.ac.jp/can/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、学校の自己評価を実施したうえで、企業等が学校関係者として評価に参画する「学校関係者評価」の実施及び公表を行い、その結果を踏まえた学校運営の改善に取り組む。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
NPO 法人	１年間 （4 月 1 日～3 月 31 日）	企業等委員
同窓会	１年間 （4 月 1 日～3 月 31 日）	卒業生
保護者会	１年間 （4 月 1 日～3 月 31 日）	保護者

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.chuo.ac.jp/can/
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.chuo.ac.jp/can/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H110310000469
学校名	中央動物看護専門学校
設置者名	学校法人中央総合学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	－
内訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	0人	－	
	第Ⅲ区分	－	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。